

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより57号

(平成24年3月発行)



「中国貨物船から船卸し」

INDEX

- 平成23年鳥取港取扱貨物量
- 平成24年度鳥取港関係予算
- 「鳥取港の明日を考える講演会」を開催
- 新日本製鐵株式会社八幡製鐵所視察
- 竹内鳥取市長がトップセールスを実施
- 客船「ばしふいっくびいなす」が今秋入港
- 「鳥取砂丘砂の美術館」4月11日オープン
- 「鳥取かにフェスタ2011」賑わう
- 外国貿易支援制度(御案内)

発行:鳥取港振興会

平成23年(2011年)鳥取港港湾統計年報【速報値】

平成23年の鳥取港の貨物取扱量は、374,351トンで、前年と比べて131,708トンの減(対前年比約26%減)となりました。移出については、海上工事の減少による石材・窯業品の減少。移入については、殿ダムの工事完了により砂利・砂が減少していますが、新たに再生碎石の移入が始まる動きがありました。

(単位:トン)

内 貿				
	品種別	21年	22年	23年
移 出	石 材	29,875	46,025	17,344
	窯業品	6,218	26,222	4,820
	水	2,982	3,684	3,402
	重 油	1,689	1,742	1,746
	その他品種	15,428	3,149	2,549
	移出計	56,192	80,822	29,861
移 入	砂利・砂	245,333	208,145	51,070
	再生碎石	0	0	72,052
	石灰石	60,300	66,400	41,200
	鉄鉱石	55,300	55,700	88,860
	セメント	64,600	50,700	41,400
	その他品種	33,564	37,292	37,618
	移入計	459,097	418,237	332,200
移出入計	515,289	499,059	362,061	

外 貿				
	品種別	21年	22年	23年
輸 出	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	輸出計	0	0	0
輸 入	化学薬品	6,465	7,000	12,290
	—	—	—	—
	石灰石	—	—	—
	鉄鉱石	—	—	—
	セメント	—	—	—
	その他品種	—	—	—
輸入計	6,465	7,000	12,290	
移出入計	6,465	7,000	12,290	

	21年	22年	23年
内貿外貿計	521,754	506,059	374,351

平成24年度 鳥取港関係予算

国の公共事業費が抑制される中、平成24年度の鳥取港関係予算は23年度予算比52.5%増加で、港湾環境整備を促進する事業内容となっております。

(単位:千円)

事 業 名	所在地・地区名	施 設 名	H23年度事業費	H24年度事業費
【直 轄】 改 修(重 要)	千 代	防波堤(第1)(西)	210,000	350,000
【補 助】 改 修(重 要)	千 代	防波堤(第2、第3)	70,000	140,000
【交付金】 地域自主戦略交付金	千 代	岸壁矢板補修・鋼管補修等	138,400	148,000
合 計			418,400	638,000

- 防波堤改修は、鳥取港への船舶入出港時の安全性向上(西浜航路の開設)及び静穏度向上を図る事業です。
- 岸壁矢板補修等は、既存施設の延命化のための改良・補修です。

「鳥取港の明日を考える講演会」を開催

鳥取港の一層の利用促進と活性化を目指して、3月23日(金)、鳥取市内の「とりぎん文化会館」で講演会を開催しました。

講師として、社団法人ウォーターフロント開発協会 専務理事の橋間元徳氏と五洋建設株式会社土木企画部長の前田泰芳氏のお二人をお迎えし、橋間専務理事は「わが国のウォーターフロント開発とみなとまちづくり」、前田部長は「港における賑わいの創出と鳥取港について」と題し、それぞれ講演をいただきました。当日は、鳥取港振興会会員、国県市職員、一般合わせて60名の参加者が集まり、講演に熱心に耳を傾けました。

橋間講師からは、元運輸省第一港湾建設局長の実績を生かし、昭和25年の港湾法制定から平成15年の「みなとオアシス」制度制定まで港湾史をひもといた上で、「鳥取港への期待」として①漁港との連携 ②客船の活用 ③「みなとオアシス」活用の三点を提案いただきました。

また前田講師からは、水際線近傍施設が、港湾の魅力をより引き立てている事例を紹介し、集客利便施設と水際線の距離をできるだけ縮めることが重要であるとの考えを披露されました。鳥取港の振興についても、高いポテンシャルを秘めたエリアと賑わいの創出についての提言をいただきました。

豊富な経験や知識に基づく両講師の熱のこもった講演は、鳥取港の振興すべき方策の示唆に富むもので大変好評でした。



橋間講師



前田講師



会場の様子

新日本製鐵株式会社八幡製鐵所を視察

鳥取港の主要貨物として増加していく可能性のある「鉄鋼スラグ」について、清水鳥取振興会副会長を団長に鳥取港振興会会員等7名が3月12日、新日本製鐵株式会社八幡製鐵所(北九州市)を訪問し、鉄鋼製品の製造工程及び副産物の鉄鋼スラグの生成工程を見学しました。

見学後、鉄鋼スラグによる藻場復活、道路用路盤材活用などの有効利用事例の説明を受けて、意見交換を行いました。

同社鳥取秀郎生産技術部長はじめ、スラグ・資源化部門幹部の方々との意見交換は、情報交換の場ともなり、会員の活動にも非常に参考となる有意義な視察となりました。



竹内鳥取市長がトップセールスを実施

全国各地の港湾でクルーズ客船の誘致の働き掛けが強まる中、鳥取港への寄港促進を図るため、竹内功鳥取港振興会会長(鳥取市長)が、クルーズ船社とクルーズ専門の旅行社に、因幡地域の魅力ある観光資源などについてPRを行いました。

また、クルーズ船客に喜ばれる観光コースの設定やおもてなしの歓迎セレモニーについても意見交換しました。今後、客船の魅力を生かした鳥取港の賑わい創出をさらに促進していきます。

2月9日(木) 訪問先

日本クルーズ客船株式会社(大阪市)
代表取締役社長 入谷 泰生 氏



クルーズのゆたか倶楽部株式会社



日本クルーズ客船株式会社

2月7日(火) 訪問先

クルーズのゆたか倶楽部株式会社(東京都)
代表取締役 松浦 睦夫 氏

清水副会長(鳥取商工会議所会頭)も同席して、観光資源や観光ルートをアピールしていただきました。

クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」が今秋入港!!

日本クルーズ客船株式会社自主企画クルーズ「秋の日本一周」で豪華客船「ぱしふいっくびいなす」が平成24年9月23(日)に鳥取港に寄港します。横浜・神戸港発着で、関東関西圏のお客さんがお越しになります。

当日は、鳥取港周辺自治体及び関係機関で設立した「鳥取港クルーズ誘致推進会議」が中心となり、特産品販売や郷土芸能披露、周辺地域の観光地を巡るオプションツアーの案内など、鳥取ならではの「おもてなしの心」でお迎えすることとしています。

こうした取り組みが、次回以降のクルーズ客船誘致に繋がり、鳥取港の活性化とともに、周辺地域の観光振興、産業の活性化に役立てばと考えています。



「ぱしふいっくびいなす」

日本クルーズ客船株式会社所有
就航:1998年4月
総トン数:26,594トン、乗客定員644名
全長:183.4m、全幅:25.0m
巡航速度:18.5ノット

《入港予定》 平成24年9月23日(日)

入港9時 出港17時

日本クルーズ客船株式会社様 日本一周企画

「鳥取砂丘 砂の美術館」完成、4月14日オープン

～ 第5期展示テーマは「砂で世界旅行・イギリス」～

鳥取を代表する観光地、鳥取砂丘に砂の像を常設展示する「鳥取砂丘砂の美術館」がいよいよ4月14日新たにオープンします。

砂の美術館は、鳥取砂丘の魅力づくりの一環として平成18年に開館しました。平成22年度の第4期展示までの通算来場者は100万人を超え、鳥取の観光人気スポットとなっています。

しかし、ミュージアム施設が大型仮設テントだったため、床面積が狭小で台風などの自然災害に弱く、たびたび入場制限や臨時休業を行うなどの課題も抱えていました。

これらの課題を解決し、さらに世界に誇れる文化・観光の創造拠点施設とするため、昨年度から環境整備に取り組み、このたび、世界で唯一の砂像展示専門の屋内美術館として完成しました。

ミュージアム施設は、鉄筋コンクリート造りの地上2階、地下1階、延べ床面積は約2千800平方メートルあります。

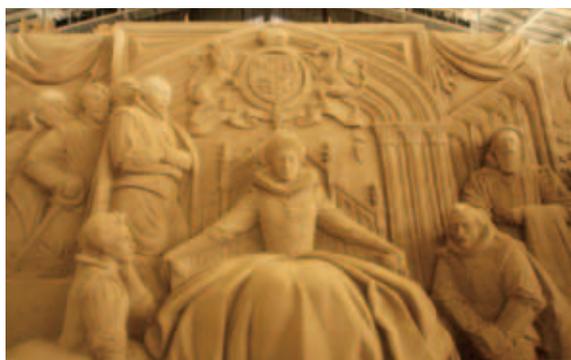
リニューアル後初の展示は、「砂で世界旅行・イギリス～語り継がれる大英帝国の繁栄と王室の誇り」をテーマに16作品を展示。10カ国15人の砂像彫刻家が、ウェストミンスター宮殿(国会議事堂)、ビッグベン(時計塔)など砂丘の砂2,500トンを使って表現します。

「砂像のまち鳥取市」でしか観ることのできない、砂丘砂と世界トップレベルの砂像彫刻家が織りなす、儚くも美しい砂の芸術をじっくりとご堪能ください。

このすばらしい砂の美術館が、鳥取の新たな観光拠点の一つとなるよう、当振興会でも積極的にバックアップしたいと考えています。



正面外観



「エリザベス1世と絶対王政」

「鳥取かにフェスタ2011」賑わう

平成23年11月26日(土)、鳥取港マリンピア賀露内で、恒例の松葉がにイベント「鳥取かにフェスタ2011」が開催されました。会場には地元で水揚げされた「松葉がに」をはじめ、新鮮な魚介類・野菜が格安で販売され、冬の海・山の幸を求める県内外の行楽客で賑わいました。

人気の飲食コーナーでは、無料でふるまわれる「かに汁」1,200食が用意されていましたが、長蛇の列ができ瞬く間に無くなっていました。



外国貿易支援制度(御案内)

コンテナ航路など定期航路のない鳥取港から、より多くの貨物を外国に輸出するために、鳥取港を利用して貿易を行う事業者の方に、鳥取港での港湾使用料の減免や港湾荷役料の一部を補助します。

支援内容

(1) 港湾荷役支援

鳥取港での港湾荷役料の一部を補助します。

1取引の港湾荷役経費×補助率1/2(補助上限500千円)

(2) 港湾施設使用料減免

「(1)港湾荷役支援」を受けた補助事業者に対して、(1)の港湾荷役支援に加え、鳥取港を利用した同貿易に係る港湾使用料が減免されます。

岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を100%減免(最長10日間)

問合せ先:鳥取港振興会事務局



JCG 密輸(薬物・銃器)・密航

何か
おかしいなと
感じたら
118番
海上保安庁
緊急電話番号

水際防止

118番は海上保安庁緊急電話番号です。

麻薬・けん銃などの密輸情報は税関へ!

「安全・安心な社会を目指して」

密輸ダイヤル(24時間受付)

0120-461-961

シロイ クロイ

神戸税関 境税関支署 鳥取監視署

TEL.0857-25-1115

編集後記

多くの方が被害にあわれた東日本大震災から1年経ち、昨年度実施できなかった「鳥取港の明日を考える講演会」も今年は無事に開催できました。

これもひとえに会員の皆様のお陰だと感謝しております。年度末開催とあって、ご参加できなかった会員様におかれましては、同封の講演会議事録をご査収ください。

平成24年度の総会を、5月22日(火)に予定しておりますので、席上23年度の実績につきまして、報告させていただく所存です。よろしくお願いいたします。(草野)

今後のスケジュール

鳥取港振興会理事会・総会

5月22日(火) ホープスターとっとり

■問合せ先:TEL 0857-22-1836

鳥取振興会事務局

鳥取・賀露みなとオアシス夏まつり2012

7月16日(海の日) 賀露マリニピア(予定)

■問合せ先:TEL 090-4145-6125

鳥取みなとオアシス協議会(代表 岸)

自衛隊護衛艦が来港(予定)

護衛艦1隻 7月28日(土)・29日(日)

■問合せ先:TEL 0857-23-2251

自衛隊鳥取地方協力本部

<http://www.mod.go.jp/pco/tottori/>

鳥取サンセット・漁火クルージング

7月、8月(予定)

■問合せ先:TEL 0857-20-3228

鳥取市観光コンベンション推進課

鳥取港振興会事務局

〒680-8570

鳥取市東町一丁目220番地(県本庁舎5階)

TEL(0857)22-1836/FAX(0857)22-1848